

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】令和 2 年 4 月 2 日 (2020.4.2)

【公開番号】特開 2018-164792 (P2018-164792A)  
 【公開日】平成 30 年 10 月 25 日 (2018.10.25)  
 【年通号数】公開・登録公報 2018-041  
 【出願番号】特願 2018-145485 (P2018-145485)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 2 月 10 日 (2020.2.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の音演出を実行可能な音演出手段と、  
複数の光演出を実行可能な光演出手段と、  
前記音演出手段による音演出を実行制御する音演出制御手段と、  
前記光演出手段による光演出を実行制御する光演出制御手段と、を備え、  
前記音演出と前記光演出のそれぞれの実行時期の少なくとも一部が重なって実行可能に  
構成された遊技機であって、  
前記複数の音演出には、少なくとも第 1 音演出が含まれ、  
前記複数の光演出には、少なくとも第 1 光演出が含まれ、  
前記音演出制御手段は、  
前記複数の音演出のうちからいずれかの音演出を実行可能であり、  
前記第 1 音演出を実行する場合、当該第 1 音演出の実行開始から所定期間が経過するま  
では、当該第 1 音演出を第 1 音量で実行し、前記所定期間が経過した後は、前記第 1 音演  
出を前記第 1 音量よりも大きい第 2 音量で実行可能に構成した、  
 ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記光演出制御手段は、  
前記複数の光演出のうちからいずれかの光演出を実行可能であり、  
前記第 1 光演出を実行する場合、当該第 1 光演出の実行開始から所定期間が経過するま  
では、前記所定期間経過後に実行する光量よりも少ない光量で実行可能に構成した、  
 ことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

しかしながら、上記遊技機では、B G Mの切替えによりスピーカやランプの演出態様が

変化した際に、遊技者に不快感を与える恐れがある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

そこで本発明の目的は、上記課題を解決し、演出の変化により遊技者が受ける不快感を防止しうる遊技機を提供することにある。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明によれば、演出の変化により遊技者が受ける不快感を防止し得る。